

---

---

## 第 77 回数理社会学会大会 (JAMS77) プログラム (大会前暫定版)

日時：2024 年 8 月 30 日 (金) ~8 月 31 日 (土)

会場：東北大学川内キャンパス

大会委員長：浜田宏 (東北大学)

---

---

### 1 参加費：

一般 (会員) 4,000 円                  学生・院生 (会員) 1,000 円  
一般 (非会員) 5,000 円                学生・院生 (非会員) 2,000 円

### 2 懇親会：

一般 6,000 円                          学生・院生 2,000 円

### 3 主なスケジュール

時間			
8 月 29 日	15:00~17:00	ワンステップアップ・セミナー	
8 月 30 日	9:10~10:50	会員企画部会 (第 1 部会)	自由報告 I (第 2 部会)
	11:00~12:40	自由報告 II (第 3 部会)	自由報告 III (第 4 部会)
	12:40~13:30	昼食休憩	
	13:30~15:10	萌芽的セッション I	
	15:25~16:25	学会賞受賞講演	
	16:40~17:40	総会	
8 月 31 日	9:00~10:40	自由報告 IV (第 5 部会)	萌芽的セッション II
	11:00~12:40	自由報告 V (第 6 部会)	自由報告 VI (第 7 部会)
	12:40~13:30	昼食休憩	
	13:30~15:10	萌芽的セッション II	

### 4 主な会場 (文科系総合講義棟・第 1 講義室)

- ・受付：文科系総合講義棟・入口
- ・会員控室・抜き刷り交換コーナー：文科系総合講義棟・第 3 小講義室

### 5 口頭報告者へのお願い (自由報告)

- ・部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- ・会場設置パソコンを利用できます (Windows10, Office365)。持参パソコンの場合、HDMI 端子接続の Windows ノートパソコンが使用可能です。いずれの場合も持参の機器は、開場前に必ず接続テストをお願いします。

- ・ファイルは当日持参してください (USB メモリ利用可)。
- ・配布資料は、報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- ・(司会者の方々へ) 部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴, 15 分 2 鈴, 25 分 3 鈴を鳴らします。

#### 6 ポスター報告者へのお願い (萌芽的セッション報告)

- ・1 日目の萌芽的セッション I で報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外してください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・2 日目の萌芽的セッション II で報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外してください。萌芽的セッション III で報告される方はポスターを昼食休憩中 (12:40~13:30) になるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外してください。各セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・最大で A0 (縦 1189×横 841mm) のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ポスターの貼りつけには画鋏あるいはセロハンテープ (いずれも開催校が用意) が使用可能です。
- ・部会開始 5 分前に集合してください。

#### 7 問い合わせ先

**研究事務局** 〒600-8234 京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学 産業社会学部 金澤 悠介

E-mail: jams.research[at]gmail.com

**大会開催校** 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 (川内南キャンパス)

東北大学大学院 文学研究科 浜田 宏

E-mail: jams.meeting77[at]gmail.com (一般的な問い合わせ)

8月29日(木)

13:00~15:00	編集委員会	文学研究科棟・605 演習室
13:00~15:00	研究活動委員会	文学研究科棟・607 演習室
15:00~17:00	ワンステップアップ・セミナー	文科系総合講義棟・第2 講義室
17:00~19:00	理事会	文学研究科棟・605 演習室

8月30日(金)

08:45	開場	
09:00	開会挨拶 大会委員長 浜田宏	文科系総合講義棟・第1 講義室
09:10~10:50	会員企画部会・自由報告 I	
	【第1 部会】 国際比較調査における特異項目機能 (DIF) への対応 (会員企画部会)	文科系総合講義棟・第1 講義室
	司会 木村邦博 (東北大学名誉教授)	

1	特異項目機能とは —分析の概要と課題—	田崎勝也 (青山学院大学)
2	多群潜在クラスモデルによる特異項目機能の検討 —信頼感の日米比較の2次分析—	木村邦博 (東北大学名誉教授)
3	反応バイアスと DIF	申知元 (神田外語大学)
4	係留ヴェネット法による教育の公的支出への世論の分析 —階層ベイズ Aldrich-McKelvey 尺度法の適用—	小川和孝 (東北大学)

	【第2 部会】 空間とネットワーク	文科系総合講義棟・第2 講義室
	司会 堀内史朗 (阪南大学)	

1	QGIS プラグイン版『聞き書きマップ』の複数経路表示・切り替え 再生対応化	原田豊 (立正大学)
2	Estimating the Effects of Social Capital on Agricultural Disaster Resilience Using Satellite Remote Sensing	山口侑平 (東北大学大学院)
3	街歩きや文化・スポーツなどの余暇活動における都市効果の検討	千葉真 (東北大学大学院)
4	点中心性からコアブロックへ —確率的ブロックモデルとの関連から—	鈴木努 (東北学院大学)

\*\*\*\*休憩 (10分) \*\*\*\*

11:00~12:40 自由報告Ⅱ・自由報告Ⅲ

【第3部会】 差別とマイノリティ

文科系総合講義棟・第1講義室

司会 永吉希久子（東京大学）

1	統計的差別と誤情報修正によるレイシャル・プロファイリング — 支持の解消—日本におけるサーベイ実験—	○五十嵐彰（大阪大学）、 森田果（東北大学）、 尾野嘉邦（早稲田大学）
2	日本人の移民受け入れ態度の決定要因 —コンジョイント分析による実証研究—	張佳潔（東京大学大学院）
3	□ Place of education and immigrants' wages in Japan: The role of field of study	竹ノ下弘久（慶應義塾大学）
4	□ Discrimination against LGB employees and their willingness to continue working during Covid-19	Yerong Zhao（東北大学）

【第4部会】 社会階層

文科系総合講義棟・第2講義室

司会 佐藤嘉倫（京都先端科学大学）

1	職業的地位による仕事の自律性と精神的健康の関連の違い —世代による影響力の差異—	鳥居勇氣（日本学術振興会 ／立教大学大学院）
2	日本社会の階層構造とパーソナルネットワーク —多重対応分析を用いた実証分析—	数実浩佑（宝塚大学）
3	教育は旧支配階級の祖父が孫の地位達成に及ぼす影響を弱めるの か？—士族に着目して—	石橋拳（専修大学大学院）
4	Sentence-LUKE モデルを用いた職業の自動コーディングシステ ムの構築	○藤原翔（東京大学）・高橋 和子（敬愛大学）・奥村学（東 京工業大学）・鈴木泰山（株 式会社ピコラボ）・鈴木佑京 （株式会社ピコラボ）・合木 茂（株式会社ピコラボ）

\*\*\*\* 昼食休憩（50分） \*\*\*\*

13:30～15:10 【萌芽的セッションⅠ】

文科系総合講義棟 2階ホール

1	帰納的アプローチによる「地域協働学」の体系的深化に向けた基礎検討	○湊邦生（高知大学）、 松本明（高知大学）
2	感染症抑制と経済活動維持のためのネットワーク分析 ーゲーム理論的アプローチー	藤山英樹（獨協大学）
3	☒ Word Embeddings for the Analysis of Higher Education from Google Books	YAN DONGXIN（東北大学大学院）
4	ボランティア活動参加者が得る社会経済的メリット	伊藤理史（京都産業大学）
5	オンライン上での合意形成におけるソーシャルボットの影響について	内藤晃史（東北大学大学院）
6	ニュース掲示板実験における活動に性格特性が及ぼす影響	○稲垣佑典（成城大学）、 大林真也（青山学院大学）、 瀧川裕貴（東京大学）
7	東大社研パネル調査を用いた初発の不利と社会経済的達成の関連	石田浩（東京大学）
8	大学生当時の地域活動へ再訪する人の特徴ー関係人口の類型化ー	堀内史朗（阪南大学）
9	外国人の政治参加と手続き的公正：ビニエット実験による検討	山本英弘（筑波大学）
10	祖父母から孫への経済的・非経済的支援 ー学歴・同居状況に着目してー	俣野美咲（東京大学）
11	行政情報発信時における外来語・略語使用意識の実時間変容： 一般行政職員を対象とした大規模全国調査データを活用して	○朝日祥之（国立国語研究所）、 鍵水兼貴（国立国語研究所）、 前田忠彦（統計数理研究所）、 石橋拳（専修大学大学院）
12	児童虐待の世代連続的発生と学歴の関連	○成澤雅寛（日本学術振興会／一橋大学）、 毛塚和宏（九州大学）、 藤間公太（京都大学）
13	感情労働概念による「やりがい」から「やりがい搾取」への展開に関する考察	大谷康人（東京大学大学院）
14	商店街に対する近隣マンション住民の評価と利用実態	○塚常健太（岡山理科大学）、 井上悠貴（岡山理科大学）、 大戸井功樹（岡山理科大学）、 多田昇永（岡山理科大学）、 谷本昌大（岡山理科大学）、 馬夢琪（岡山理科大学）、 森仁志（岡山理科大学）、 矢部久智（岡山市表町商店街連盟）
15	言説空間の数量的把握に向けたトピックモデル分析の応用	飛松大騎（東京大学大学院）
16	デジタルデバイドが世代移動に与える影響の再検討	劉崢（東北大学）

17	社会的ジレンマをゲーム理論的枠組みのなかで定式化し分析すること	河野敬雄（無所属）
18	Range of Tasks: The Variation Among Workers and Earnings Returns Across Countries	○麦山亮太（学習院大学）、有田伸（東京大学）
19	「夢追い」職業希望コーディングの再検討	○山口哲司（東京大学大学院）、打越文弥（ハーバード大学）
20	日本社会における教育政策への世論の推移に関する実証研究—いくつかの政策との比較を通じた分析—	森坂太一（日本学術振興会／東北大学大学院）
21	レジリエントな地域共有物管理の集団間支援ネットワーク	三隅一人（九州大学）

\*\*\*\* 休憩（15分） \*\*\*\*

15:25～16:25 学会賞受賞講演

文科系総合講義棟・第1講義室

\*\*\*\* 休憩（15分） \*\*\*\*

16:40～17:40 総会

文科系総合講義棟・第1講義室

18:00～20:00 懇親会

8月31日（土）

08:45 開場

09:00～10:40 自由報告IV・萌芽的セッションII

【第5部会】 数理モデル

文科系総合講義棟・第1講義室

司会 調整中（xxxxx）

1	触れることの現象学	落合仁司（無所属）
2	選択的接触に基づいたコミュニケーションが浸透的(Oil Spill)分極化に与える影響について	○名倉卓弥（筑波大学大学院）、秋山英三（筑波大学）
3	所得分布生成の統合モデル	○小野佑理（関西学院大学）、石田淳（関西学院大学）
4	エミュレーションに基づく報酬が相対的剥奪と社会的不平等に与える影響	山口一男（シカゴ大学）

## 【萌芽的セッションII】

文科系総合講義棟 2階ホール

1	SSJDA Panel の非回収パターンの分析	○石田賢示（東京大学）、 谷口沙恵（東京大学）、藤原 翔（東京大学）
2	主観的自由と行為選択	内藤準（成蹊大学）
3	一般的信頼の個人内変化にかんする検討 —東大社研パネル調査から—	大崎裕子（立教大学）
4	時点間で変化が小さいデータに対する分位点回帰分析適用の可能性に関する検討	橋爪裕人（公益財団法人た ばこ総合研究センター）
5	学習アルゴリズムが慣習の形成に与える影響	堀田悠生（同志社大学）
6	同性婚の法制化に対する支持の形成	中濤（早稲田大学大学院）
7	理工系進路のジェンダー差の合理的選択要因による説明	豊永耕平（近畿大学）
8	大規模再開発を経験した地区における階層格差の影響 —地域活動と主観的幸福に注目して—	脇田彩（お茶の水女子大学）
9	昆虫食は消費者に受け入れられるのか	深井綾乃（お茶の水女子大 学大学院）
10	就労時間帯の選択、経済状況、社会関係性の相互連関	泉田信行（国立社会保障・人 口問題研究所）
11	リスク認知は口コミの効果にどう影響するのか —SNS を想定しての実験研究—	宮田朋佳（東北学院大学大 学院）
12	「望ましい所得」のジェンダー格差に対する統計的差別の影響 —ビネット調査を用いた検証—	○永吉希久子（東京大学）、 吉田崇（静岡大学）、竹ノ下 弘久（慶應義塾大学）
13	中国における婚姻コストが婚姻の安定性及び女性の地位に与える 影響について	王童（東北大学大学院）
14	家族の教育戦略が子供の学力に与える影響の研究	付郁（東北大学大学院）
15	就労女性における壮年期の雇用形態の軌跡とコホート変化	新田真悟（日本学術振興会 ／学習院大学）
16	コロナ禍前後における健康に関する検索行動の都道府県別分析	小宮山智志（新潟国際情報 大学）
17	☒ Disparity among different immigrant groups in Japan --from a perspective of telework	○陳テイテイ（慶應義塾大 学大学院）・竹ノ下弘久（慶 應義塾大学）
18	過去の健康問題と社会経済的不平等:ウェブ調査を用いた予備的 検討	神林博史（東北学院大学）
19	Population Centered Approach に基づく災害と不平等の検討	前田豊（信州大学）
20	地方圏における中心都市へのアクセシビリティが地域人口動態にも たらす影響	家高裕史（関西学院大学）

\*\*\*\*休憩 (20分) \*\*\*\*

11:00~12:40 自由報告V・自由報告VI

【第6部会】 労働

文科系総合講義棟・第1講義室

司会 高松里江 (立命館大学)

1	労働力調査による3歳以下の子供がいることが女性の就労行動に与える効果の推定	佐々木洋介 (神戸大学)
2	専攻間賃金格差とその年齢変化	豊永耕平 (近畿大学)
3	高卒の初職非正規雇用リスクにおけるジェンダー間格差—性別職域分離がもたらす影響—	那須蘭太郎 (日本学術振興会/東京大学大学院)
4	人手不足と正規・非正規間の賃金格差	森山智彦 (労働政策研究・研修機構)

【第7部会】 社会心理へのアプローチ

文科系総合講義棟・第2講義室

司会 内藤準 (成蹊大学)

1	財政制約を考慮した公教育費への世論についての研究—制約条件ごとの選好の違いに注目したサーベイ実験による分析—	森坂太一 (日本学術振興会/東北大学大学院)
2	制服は労働者を権威主義的にするか? 美的労働と社会意識	太郎丸博 (京都大学)
3	情報の参照における内集団バイアス—コーディネーションゲーム実験による検証—	○竹本亨 (日本大学)、高橋広雅 (広島市立大学)、鈴木明宏 (山形大学)
4	社会的孤立・孤独を予防・緩和するためのバーチャル壁面システムの構築—システム構築のための心理学的実験—	原田佑規 (京都先端科学大学)、佐藤啓宏 (京都先端科学大学)、沖一雄 (京都先端科学大学)、神原歩 (京都先端科学大学)、○佐藤嘉倫 (京都先端科学大学)、高橋亮 (京都先端科学大学)、辻竜平 (近畿大学)、内海信幸 (京都先端科学大学)

\*\*\*\*昼食休憩 (50分) \*\*\*\*



13:30～15:10 【萌芽的セッションⅢ】

文科系総合講義棟 2階ホール

1	企業の求める人物像, 求人情報のテキスト分析	森川ゆり子 (日本学術振興会/東京大学大学院)
2	なぜ理系に進学する女性が少ないか? —家庭・学校・社会における課外の科学的体験に着目して—	李中恵 ( )
3	職業選択におよぼすジェンダー・ステレオタイプおよび能力観の影響—「高校生と母親調査」を用いて—	○高松里江 (立命館大学)、 章梦婷 (立命館大学大学院)
4	面接調査における回答者と調査員の性別の組み合わせの効果に関する検討	○前田忠彦 (統計数理研究所)、 石橋拳 (専修大学大学院)
5	現代日本における若年・壮年者の生活満足度の規定要因 —ライフコースアプローチからの検討—	李擎月 (東北大学大学院)
6	私立大学の「定員割れ」と経営の因果効果: g-methods を応用して	松宮慎治 (信州大学)
7	身近な人とのインタラクションが高齢者のメンタルヘルスに与える影響	安井由美 (成蹊大学大学院)
8	職場環境はいかにして労働者の投票行動を変えうるか —集団効力感の醸成に着目して—	山本耕平 (公益社団法人国際経済労働研究所)
9	文化資本は世代間再生産を強めるのか弱めるのか —教育段階ごとの検討—	石橋拳 (専修大学大学院)
10	美的意識の男女別とその影響要因	○張亮 (京都大学)、 太郎丸博 (京都大学)
11	ひとり親世帯の子どもの生活習慣と成績 —親の帰宅時間による影響に着目して—	建部知則 (学習院大学大学院)
12	非大卒者の自営業への到達と経済的上昇移動	西尾知耀 (東北大学大学院)
13	インフォームド・コンセントの未来 —デジタルデータについて同意はどこまで可能か?—	○保田幸子 (東京大学)、 瀧川裕貴 (東京大学)
14	子どもの家事に対する親の評価 —おこづかいと褒めに関するコンジョイント実験を用いた検討—	尾藤央延 (東京都立大学)、 ○戸高南帆 (東京大学大学院)
15	台湾エスニック・ナショナル・アイデンティティのファジィ集合分析	○石田淳 (関西学院大学)、 林怡蓉 (大阪経済大学)
16	移民の親の教育アスピレーション: 足立区外国人調査を事例に	○中村翔 (慶應義塾大学大学院)、 北村友宏 (慶應義塾大学大学院)、 竹ノ下弘久 (慶應義塾大学)
17	誤認知の修正によって態度は変化するか? —潜在的偏見と顕在的偏見の不一致に着目して—	○齋藤僚介 (大阪大学)、 五十嵐彰 (大阪大学)
18	文化生産の perspective における測定に関するデータと手法の検討	山内信明 (東京大学大学院)

\*\*\*\*休憩 (10分) \*\*\*\*

(備考)

1. ○印は登壇者を示します。E は英語による報告です。The E symbol stands for English presentations.
2. 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
3. ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
4. 大学敷地内は、全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。
5. eduroam が利用可能です。